

みなさんはモグラをみたことがありますか？  
名前は知っていても実物を見たことのある人は少ないかもしれません。知っているようで知らない？  
モグラを紹介しましょう。

### 広い縄張りを持つモグラ

モグラは、わたし達と同じほ乳類です。春～秋に4～6頭ほどの仔を産みます。仔は1～2か月で、ひとり立ちします。縄張り意識が強く、たとえ我が子であろうとひとり立ちをしたら縄張りから追い出されます。一頭の縄張りはとても広く、食料の豊富な場所でも300m<sup>2</sup>（学校の教室約5部屋分）食料の少ない場所だと4000m<sup>2</sup>以上（教室50部屋以上）にもなります。

### 地下生活の秘密

モグラは地面に穴を掘って暮らしています。穴を掘りやすくするため、前足はスコップのようになっています（図1）。力も強く、自分より大きな石なども押し回すことができます。掘った土は地上に押し上げ、「モグラ塚」を作ります（図2）。体毛は体に対して垂直に生えています。そのおかげでトンネル内でも毛が引っかからず、前進と後退がスムーズにできます。また、毛の隙間に土が入らないように、とても毛が密に生えています。眼は小さく、一部のモグラではまぶたがくっついてますが、明暗は認識しているようです（図3）。

### 地下の広い家

モグラはトンネル内にいろいろな部屋をつくりまわします。寝る部屋、トイレ、休憩室、食料貯蔵庫など。えさを探すトンネルは長く、毎日行ったり来たりして、トンネル内に出てきたミミズなどを食べます。

モグラ塚を見かけたら、その下にはモグラの広い家があること想像してみてください。（清水海渡）



図1 スコップのような前足



図2 モグラ塚



図3 アズマモグラの小さな眼